

&lt;シリーズ&gt;

# SDGsと塗料産業 ～未来へ繋ぐ最前線を考える～



大成ホールディングス  
取締役  
**徳倉 真太郎氏**

P策定推進フォーラムで  
最優秀賞受賞、弊社「ロ  
ナ対応がTBS番組「N  
スター」で放映していただ  
くこともありました。  
来期からは、代表取締

## SDGsと仕事の繋がり

役社長自らが委員長となり、サステナビリティ委員会を設置。初年度は各事業における取組み状況の整理とグループ全体として目標設定を行い、2年目からグループとして取り組む計画です。今後も理念を追求していくことは、SDGsに繋がっていると考えています。

制定した創業の精神の中の「健全なる社会の実現に貢献する」を始め、他の精神をSDGsと照らし合わせても、根本に流れる「良い未来を築き・後世に残していく」という想いは変わらないと考えています。先人たちの想いを大切にしつつ、SDGsという世界共通の課題に取り組むことで、「子供たちがより希望を持てる世界に貢献していきたいです。

## SDGsと会社方針の関係

当THDグループでは、「世の中の役に立つ企業にする」と「人を大切にする」「楽しく愉快に徹底的に考え実行すること」という3つの理念を大切にしてきました。この経営理念を掲げた7代目社長の徳倉治は事業を成長させながらも、お客様・お取引先様・地域社会・社員とすべての関係者のどこかに歪みが起きてしまわないか心配りをしながら経営をしていました。この「歪」が起きないよう経営していくことをSDGs（持続可能な開発目標）に結びていると考えています。

当理念は、現代代表であ

る徳倉俊一、専務取締役・稻生豊人も大切にしており、理念と向き合った結果、「社会貢献の精神」「開拓者の精神」「感謝の精神」「堅実経営の精神」「人間尊重の精神」と各事業部の経営理念(使命・目標・行動指針)を制定しました。この策定は私を含むTHD役員3名で数ヶ月をかけ、先代社長である徳倉真治の生き様などの対策を実施してまいりました。結果、社員を始めとした様々な方との協力による開発目標)に直結していっています。

インセンカルにて2011年度東京都中小企業BC

に選ばれました。結果、社員を始めていた想いをまとめたものになります。

制定過程では、会社の歴史を学び直し、役員との会話を通じて、社員を

合わせて考えることができ、問題を身近に感じることができるようになつたと感じています。

また、昨今はグローバルにヒト・モノ・カネ・情報が繋がり、ウクライ

## SDGsを通じて感じる」と

17の目標と「SDGs」のターゲットという分かりやすく平易な言葉でまとめていただいていることに感謝しています。新聞やニュース、SNSなどさまざまな情報収集をする中で、一つひとつの目標・ターゲットは既に知っていましたが、どこか他人ごとになつてしまい、自身の問題として捉えていくようになりましたが、どこか他人ごとになつてしまい、自身の問題として捉えていく必要性を明文化していました。しかし、明文化していただいたことによつて照らし

てSDGsの課題を共に解決していくことが、働いている方々の働きがいや生きがいを作り、未来の子供たちが明るく人生を歩むための懸け橋になるのではと感じています。